



特定非営利活動法人 長岡産業活性化協会NAZE

令和元年度 事業報告書・決算報告書

【平成31年4月1日～令和2年3月31日】

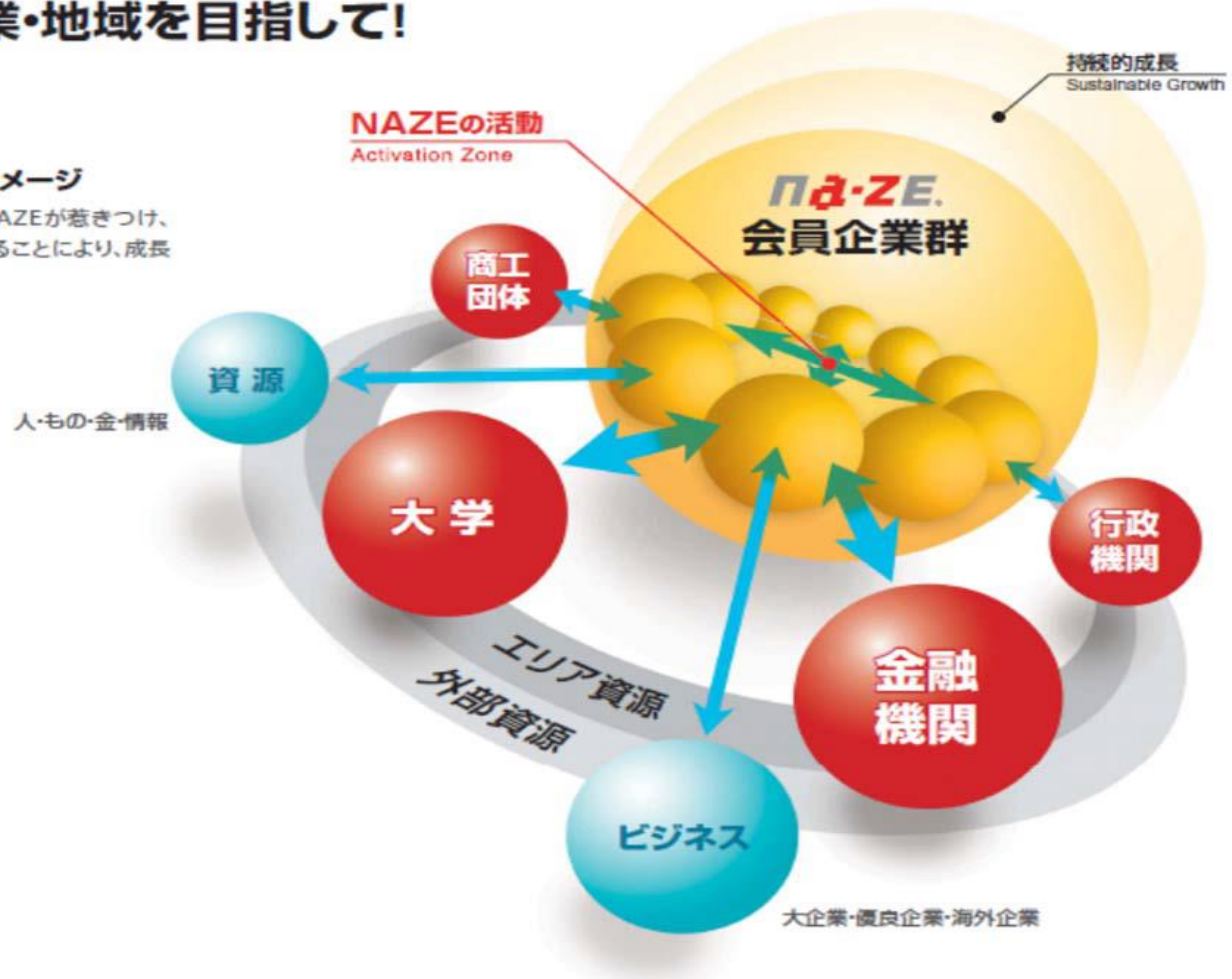
NAZEってなに？

魅力ある企業・地域を目指して！

na-ZE.
Nagasaki Activation Zone of Energy

活動の位置づけとイメージ

各企業にはない資源をNAZEが惹きつけ、それを会員企業が活用することにより、成長する仕組みを提供します。



○会員数は、82(個人会員を含む)

1. 令和元年度 事業計画

《平成31年度 重点目標》

- (1) IoT等の先進技術を活用した現場改善を推進することで、長岡地域のモノづくりの生産性の向上を図る。
- (2) 産学官金の連携を活かし、人材育成や高度な技術への更なる挑戦、企業課題の解決に取り組む。
- (3) 豪技・展示会・広報紙・各種イベント等のあらゆる手段を活用し、長岡地域のモノづくりブランドの認知度向上と販路拡大を図る。

1. 現場改善・IoT支援事業

現場改善・IoT指導者の育成と指導者派遣、IoT啓発に係るセミナー・研究会・先進企業視察を実施する。

- (1) 現場改善・IoTインストラクター養成スクール
- (2) 現場改善・IoT派遣事業(5Sを含む)
- (3) IoT啓発事業(セミナー・研究会)
- (4) 先進企業見学会(IoT・現場改善先進企業)

2. 人材育成・産学等連携事業

後継者・中堅社員に必要なスキルを学ぶ経営塾の開催。産学官金の連携による先進的技術への更なる挑戦と新たな商品・技術開発、課題解決の取り組みを実施。

- (1) NEXT道場
- (2) モノづくり研修会(モノづくり基礎)
- (3) チャレンジ事業
- (4) 産学連携課題解決事業
- (5) 高専ロボティクスOBへの活動支援
- (6) 自社商品・技術開発研究会(仮名)

モノづくり産業の 活性化をコーディネート



3. 情報・技術発信事業

展示会への出展、企業ガイドブックや広報紙の発刊、豪技や各種イベント等を活用した情報・技術の発信により、モノづくりブランドの認知度向上と販路拡大を図る。

- (1) 機械要素技術展
- (2) 豪技認定・発信
- (3) 技術力挑戦事業
- (4) 学生・子供対象の会員企業見学会
- (5) 広報媒体によるPR事業
- (6) 1高専3大学生との懇談会(就活前)

1. 現場改善・IoT支援事業

(1) 現場改善スクール：7月4日(木)～9月27日(金)全15回。8名修了
 東京大学 藤本教授の監修したカリキュラムで、製造現場のリーダーを
 育成。7年間で、78名の現場改善リーダーを輩出



(2) 現場改善・IoT派遣事業

①現場改善インストラクター派遣事業

(有)小林超硬研磨、(株)マイテック 各5回

現場改善スクールの講師を会員企業に派遣。自発的な改善活動を支援。



② 5Sチェック会の開催

参加企業、相互に5Sチェック（工場見学、検討会、改善・成果報告会）を行い、5Sのレベルアップを図る5Sチェック会を開催。

参加企業：(株)小西鍍金、(有)小林超硬研磨、イトーキマルイ工業(株)

見学会	11月21日（木）、参加者：18名
検討会	11月28日（木）、参加者：12名
成果報告会	1月28日（火）、参加者：10名



(3) AI/IoT等先進技術啓発事業
先進技術に関するミニ講演会

① AI活用セミナー 6月26日(水) 27名参加

- ・「AIを使った作業・動作解析」 技大4年生 片岡 翔太郎さん
- ・「AIをどう活用するか」 技大准教授 野中 尋史 さん



② 完全自動見積りシステムから考える3D・AI・クラウド時代のものづくりとは
講師：デジプロ研 代表 太田 明さん 7月30日(水) 25名参加



(4) 先進企業見学会

① 県外企業視察

a. 5月28日(火) ロボット：(株)不二越、QC：コーセル(株) 18名参加



b. 11月7日(木) 新しい働き方の実践を提案するオフィスを視察：
(株)イトーキ本社・展示会 4名参加

② 県内企業視察 7月24日(水)

デザイン・ブランディング
(株)兼古製作所、(株)スノーピーク
17名参加



2. 人材育成・産学等連携事業

(1) 第14期 NEXT道場

後継者・経営幹部候補者のための経営塾を開催。

経営分析、経営改革、経済性工学、安全管理、人材活用、
財務分析(2回)、知的財産管理、マーケティング分野(2回)

期 日：5月24日(金)～11月8日(金) (全12回)

参加者：6名



(2) マネージメントゲーム研修

ゲームを通じ、資金繰りなど経営感覚を学んでもらった。

期 日：9月13日(金)～9月20日(金) (全2回)

参加者：16名



(3) チャレンジ事業

会員企業の課題解決や得意とする技術・製品の特長(優位性)を研究機関等との連携により、解明・評価する「チャレンジ事業」を実施。

「IoT加速度センサの入出力システムの開発」

チャレンジャー (株)大菱計器製作所 × 新潟県工業技術総合研究所)

(4) 産学連携課題解決事業

①モノづくりコンペ

- a. 長岡造形大生が企業訪問し、学生目線で見えた企業の課題解決や強みを活かすためのアイデアを提案

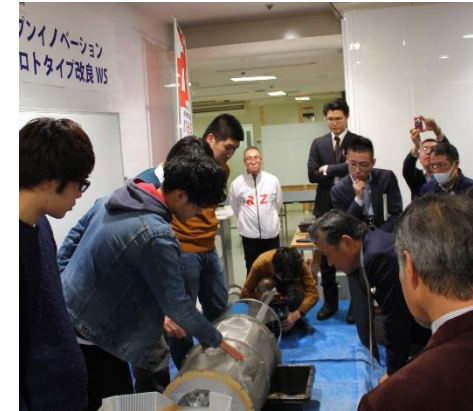


⇒アイデアのプレゼンを実施。プロトタイプ製作に向けて、イトーキマルイ工業(株)、(有)シンエー木型工業、(株)プレテック・エヌと打合せ中

- b. 長岡工業高等専門学校JSCOOPにおける学生のプロトタイプ提案に協力
- ・ 9/24(火) 課題解決のアイデア出しに5社6名が参加し、ものづくりの先輩が後輩を指導
 - ・ 10/5(土) 成果発表会を開催



- ②NAZE・「JICA-高専 オープンイノベーションプラットフォーム」
ケニアの食糧問題に取り組むスタートアップ企業の課題解決に向けた
プロトタイプの高度化についてNAZEが支援。
3者で連携協定を結ぶのは、日本初の試み。
学生が考えたアイデアを会員企業の優れた技術力で本格的なプロトタイプ
を製作。



2月29日にケニア・ナイロビで製作したプロトタイプを使い、実証実験を行
う予定であったが、新型コロナウイルスのため、渡航延期となったため、現地での実証
実験は来年度になる見込み。

③長岡技術科学大学研究室見学会

事業展開への参考、また産学連携の模索のため、長岡技術科学大学の三好孝典教授（ロボティクス）、溝尻瑞枝 産学融合特任准教授（レーザー微細加工）の研究室を見学



期 日:10月24日(木)
参加者:20名

④長岡大学オープンファクトリーセミナー

長岡大学栗井ゼミの学生と栗井先生によるオープンファクトリーセミナーを開催



期 日:2月20日
参加者:28名

(5) 自社商品等開発研究会

今年度、自社の優れた技術を生かし、最終製品の開発を目指した研究会を発足、10社10名が参加し意見交換を行っている。



3. 情報・技術発信事業

(1) 展示会出展事業

① 展示会出展セミナー 7月22日(月)

参加者：22名

講師：(株)エスト・コミュニケーションズ
代表取締役 弓削 徹 氏

② 第24回機械要素技術展M-Tech 令和2年 2月26日(水)～28日(金)の
3日間 ⇒ 10社出展



(2) 豪技の認定・発信

「豪技2019」と「歴代豪技」のPR

高校生を対象とした就職イベントやロボカップジャパンオープンinながおかななどのイベントに歴代豪技の「特別ブース」を出展し、専用チラシ・広報紙等により、重点的にPRした。



☆搬送作業の困り事をオーダーメイドの搬送システムで改善する対応力と技術力：小川コンベヤ(株)

☆AI・ディープラーニングを搭載した異物検査システムで生産性の向上と高品質化：(株)システムスクエア



(3) 技術力挑戦事業

ハンドスピナー大戦事業

- ①次代を担う子どもたちに、ものづくりの楽しさを体験してもらうため、2月1日(土)～2日(日)開催予定の「長岡ものづくりフェア2020」にて、新たな取り組みとして、ものづくりフェアに「ハンドスピナー製作体験ブース」を設置した。
- ②モノづくり拠点地域長岡の優れた技術を県内外へ発信するため、ものづくりの技術力を競う、「全日本ハンドスピナー大戦」を「長岡ものづくりフェア2020」にて、開催予定。

■エントリーチーム：12チーム

■大戦開催日時(予定)：

- ・製品展示・来場者投票：2月1日(土)



- ・全日本ハンドスピナー大戦：2月2日(日)



(※昨年度大会の様子)

(4) 多様なツールを活用した情報発信事業

- ① 広報紙 N A Z E スタイルの発刊
 68号(7月上旬)、69号(10月上旬)
 70号(1月上旬)、71号(4月上旬)
 ※各3,000部



- ② ホームページ／フェイスブック／メルマガによる情報発信

- ③ 会員企業ガイドブック2019の発刊 (発行5,000部)
 - ・ 県内外の企業や関係団体等へ N A Z E 会員企業の情報発信を強化するため、「会員企業ガイド2019」を作成。



(5) 学生・子ども対象の会員企業見学会

①小学生工場見学会の開催

次世代を担う子供たちへ、長岡地域の高度なものづくりの技術・企業・魅力を知ってもらうために市内の小学5・6年生を対象に「工場見学会」を開催。

期 日：8月7日（水）

参加者：市内の小学5、6年生30名

訪問企業：(株)大原鉄工所、マコー(株)、(株)アドテックエンジニアリング



②会員企業見学会の開催

市内大学・高専の学生からNAZE会員企業を知ってもらう機会とするため、会員見学会を開催。

期 日：9月17日（火）

参加者：49名（学生37名）

訪問企業：エヌ・エス・エス(株)、
(株)システムスクエア、
(株)トクサイ



③ 留学生によるNAZE会員企業見学会

期 日：8月9日（金）

参加者：モンゴル、マレーシア、ナイジェリア、
タイ、中国の留学生 7名

訪問企業：(株)片山抜型製作所、(株)大原鉄工所



(6) 人材確保支援事業

「NAGAOKA・ピカイチ・カイシャ・カタログ(仮称)」

長岡工業高等学校の生徒によるPR動画の作成

会員企業の素晴らしい技術力をPRするため、長岡工業高校放送局と
連携し、学生目線のPR動画を制作。現在、25社取材済



令和元年度 収支決算書

(自:平成31年4月1日～至:令和2年3月31日)

1.一般会計

【収入の部】

No.	科目名	A 予算額	B 決算額	A-B 差引	備考
1	会費	8,736,000	8,709,000	27,000	法人会員78、個人会員4
2	補助金	28,300,000	22,011,671	6,288,329	長岡市、新潟県、経済産業省
3	負担金	2,000,000	2,000,000	0	長岡商工会議所負担金
4	参加負担金	4,280,000	4,567,500	▲ 287,500	展示会出展負担金、現場改善スクール受講料等
5	短期借入金	0	0	0	3/23に積立金会計から100万円借入れ5/13に100万円返還
6	雑収入	1,000	135,251	▲ 134,251	預金利息等
7	繰越金	1,906,831	1,906,831	0	
収入合計		45,223,831	39,330,253	5,893,578	

【支出の部】

No.	科目名	A 予算額	B 決算額	A-B 差引	備考
1	事業費	40,320,831	32,359,032	7,961,799	
	(1)現場改善・IoT支援事業	7,980,000	7,182,043	797,957	現場改善・IoTインストラクター養成スクール・派遣事業等
	(2)人材育成・産学等連携事業	4,940,831	2,898,159	2,042,672	「モノづくりコンペ」取り組み費用、チャレンジ事業、NEXT道場等
	(3)情報・技術発信事業	18,800,000	14,815,179	3,984,821	機械要素技術展出展、ガイドブック発行、学生向け会員企業見学会等
	(4)組織運営に関する事業	1,390,000	1,087,112	302,888	総会・全体会議・部会等開催費等
	(5)事業推進のためのコーディネート事業費	7,210,000	6,376,539	833,461	シニアマネージャー・コーディネーター人件費等
2	管理費	4,893,000	3,955,057	937,943	スタッフ人件費、賃借料、通信運搬費等
3	積立金	0	1,500,000	▲ 1,500,000	新型コロナウイルス対策等不測事態への備え
4	予備費	10,000	0	10,000	
支出合計		45,223,831	37,814,089	7,409,742	

収入合計 - 支出合計 = 令和2年度への繰越

39,330,253 - 37,814,089 = 1,516,164

2. 事業推進積立金会計

【収入の部】		A	B	B-A	(単位:円)
	科目	予算額	決算額	差引	備考
1	繰入金	0	1,500,000	1,500,000	新型コロナウイルス対策等不測の事態への備えとしての積み立て
2	雑入	30	31	1	利息等
3	前年度繰越	3,505,778	3,505,778	0	
	収入合計	3,506,808	5,005,809	1,500,001	

【支出の部】		A	B	A-B	(単位:円)
	科目	予算額	決算額	差引	備考
1	事業推進費	0	0	0	
2	短期貸付金	0	0	0	3/23に一般会計へ100万円短期貸付け 5/10に100万円返還、差引 0円
	支出合計	0	0	0	

(収入合計) 5,005,809円 - (支出合計) 0円 = 5,005,809

5,005,809円(令和2年度へ繰越)